

岡本文彌

都万一大夫

都大夫一仲

松本治大夫

宮古路國大夫

都半仲改、江戸へ出て一流をかり出し、常磐津豊後掾と改、豊後ヲシを弘む。

富本豊前大夫

享和文化の頃の人、一流をかり出し、世に富本ヲシを云。

岡本阿波大夫

後、鳴戸大夫と改

鶴賀若狹掾

〔淨瑠理大系圖〕上竹本義大夫

常流

東流元祖 豊竹若大夫

二代目義大夫 若竹政大夫

〔蜘蛛の糸巻追加〕天明中俳優

天明寛政の比は藝道に名人多かり、俳優にも市川團十郎

六代目、後、向嶋白猿

に中村仲蔵、松本幸四郎、大谷友右衛門、中村助五郎、澤村宗十郎、嵐三五郎、二代目市川八百藏、市川門之助、女形に瀬川菊之丞、女

盛の同富三郎、岩井半四郎、中村富十郎、同のしほ、小佐川常世、佐野川一松、山下金作、いづれも千金の役者なり、

〔諸藝目利講〕二いくさの講釋の上手は、浪華に梅龍、江戸の靜山は、まさりおとらぬ能辨にして、よく人を感せしむ。

〔只誠埃録 二百二〕當時おとしばなし流行する來由

近來江戸において、落語中興の祖は、立川談洲、樓鳥亭、馬老人なり、